

# 取扱説明書

## 大径フック付親綱

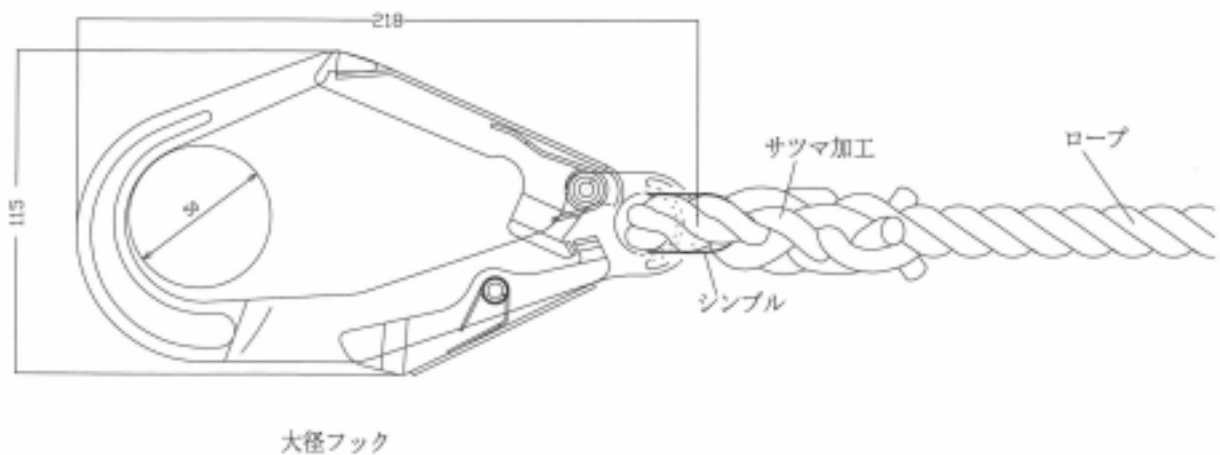
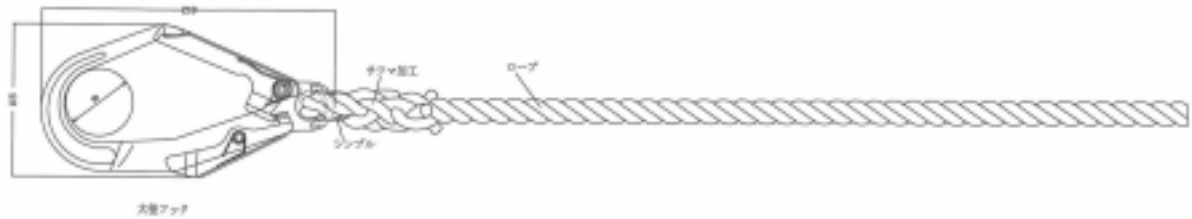
このたびは、〈大径フック付親綱〉をお買い上げいただきありがとうございます。  
本品は、高所作業に用いる安全帯のフックを掛けるための親綱です。

本品を安全に使用していただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

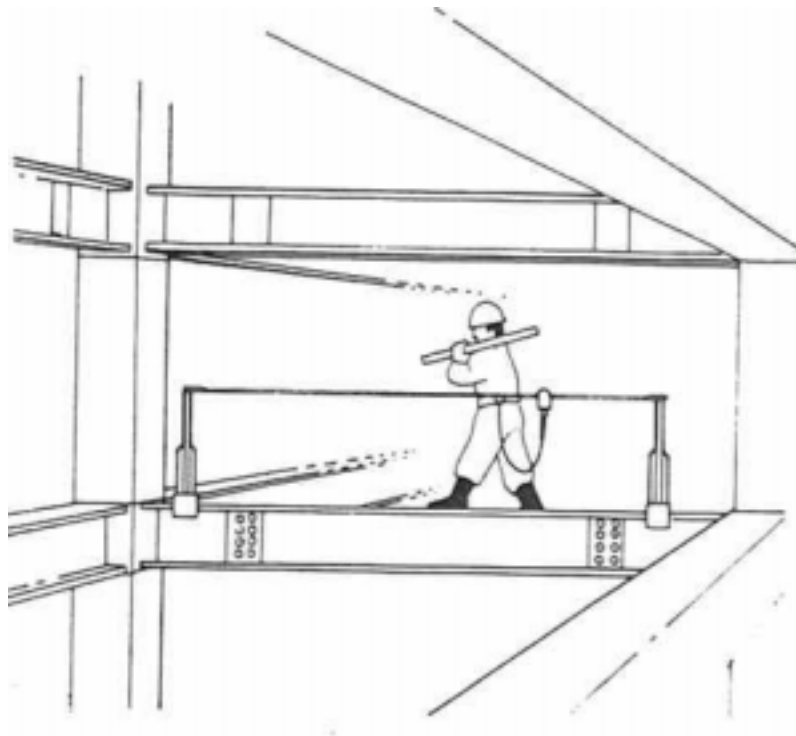
### 1. 用途

高所作業で作業する場合の安全帯のフックを掛けるためのロープ。

### 2. 構造及び各部の名前



### 3. 使用例



### 4. 使用上の注意事項

#### ⚠ 危険

鋭い角や、粗い面を持つものとロープを擦れさせないようにしてください。とくに鋭い角部にかけて張力を与えると切断する場合があります。

親網設置間隔は10m以下で使用して下さい。

ただし作業床と衝突のおそれのある床面や機械設備などとの垂直距離が少ない場合、下記のスパンで親網を設置して下さい。

垂直距離 (m)	3.8	4	4.5	5	5.5以上
親網設置間隔 (m)	3.2	4	6	8	10

ただし垂直距離は3.8m以上確保すること。

親網に付属の大径フックは、フックの先端部よりも大きな穴に固定してください。小さい穴に無理やり掛けた場合、フックが変形したり破損する恐れがあります。

1度、落下衝撃を受けた親網は絶対に使用しないでください。

保守・点検により損傷の大きいロープは使用しないでください。

親網を張る緊張器は仮設工業会の認定品に準じたものを使用して下さい。

1スパンに作業者は必ず1人でご使用ください。

重量物の荷揚げ等に使用しないで下さい。フックやロープが破損する恐れがあります。

< 1. 用途 > 以外の使用はしないでください。

## 注意

本体を改造しないでください。本来の性能が損なわれる可能性があります。  
ロープを保管・収納する場合に直射日光、雨露の当たらない所に収納し、やむを得ず屋外に収納する場合はシート等をかけてください。

### 5．点検と検収基準

- 始業点検：使用する人が作業前に毎回行ってください。  
定期点検：使用する人もしくは管理者により1ヶ月ごとに行ってください。  
異常時点検：作業中異常を感じたら直ちに作業を中止し、再点検を行ってください。

#### 検収基準

整備項目	可動部（大径フック）が正常に作動するか。 サツマ加工の編み込みが3回以上あるか。（ほつれがないか） ロープ部が摩耗・損傷・溶解（スパッタ等）してないか。 ロープ部に塗料・薬品が付着してないか。 ロープ部にキンク・形崩れがないか。 シンプルが変形してないか、なくなっていないか。 フックの付いていない方の端末部が、ほつれていないか。 親網の仕上寸法が縮まっていないか。
修理項目	大径フックの交換。（必ず熟練者が行ってください。） フックの付いていない方の端末部が、ほつれている場合は熱処理加工する。
廃棄項目	大径フックの変形の著しいもの、亀裂のあるもの、作動しないもの。 ロープ部が摩耗・損傷・溶解（スパッタ等）しているもの。 ロープ部に塗料・薬品が著しく付着しているもの。 ロープ部にキンク・形崩れがあるもの。 大径フックに溶接や加工など、改造したもの。 異常な荷重のかかったもの、落下事故のあったもの。 シンプルの変形しているもの、なくなっているもの。 （異常な荷重を受けた可能性があります。） 直径の1/10以上摩耗したもの。 親網の仕上寸法が縮まっているもの。（所定の長さの減少が5%以上）

### 6．交換のめやす

使用方法によって異なりますが、交換のめやすとしては始業点検、定期点検をおこない廃棄項目にあたるものはすべて新品と取り替えてください。